

バージョン:V3.6(2021/4/1)版

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「避難行動要支援者名簿管理ユニット」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)

オレンジ色網掛けセルは、必ず記入してください

黄色網掛けセルは、記載条件を確認の上、必要に応じ記入してください

APPLIC 登録番号:

K000696-0007

★APPLICで記載

※赤字部分は、V3.5からV3.6の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2021

・防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理V1.1

・プラットフォーム通信標準仕様V3.3

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日):

2022年2月21日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

新規

(c) 申請者

団体名:

株式会社熊本計算センター

★識別キー項目1

団体のURL:

http://www.kkc-net.co.jp/

(識別キー項目3つで

APPLIC会員番号:

K000696

ユニークになるように

(d) 製品情報

代表製品名:

避難行動支援システム(support eye)

★識別キー項目2

製品説明のURL:

https://www.kkc-net.co.jp/products/package/%e7%81%bd%e5%ae%b3%e6%99%82%e8%a6%81%e6%8f%b4%e8%ad%b7%e8%80%85%ef%bc%88%e9%81%bf%e9%9b%a3%e8%a1%8c%e5%8b%95%e8%a6%81%e6%94%af%e6%8f%b4%e8%80%85%ef%bc%89%e7%ae%a1%e7%90%86%e3%82%b7%e3%82%b9%e3%83%86/

(オプション)

複数製品で構成する場合追記:

(オプション)

複数製品で構成する場合追記:

(オプション)

複数製品で構成する場合追記:

(オプション)

製品識別情報(バージョン等):

Ver6.0

★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日):

2022年4月1日

対応OS:

Microsoft Windows Server 2019

製品の形態((0)型から(4)型):

(0)型

製品単品
(業務処理型)

製品単品
(PF通信内部実装型)

製品単品
(PF通信内部実装型)

製品分離型
(前提PF通信製品(他社))

製品分離型
(前提PF通信製品(他社)、
前提アダプタ製品(他社))

業務処理製品

業務処理製品
(業務ユニットIF処理)
(PF通信処理)

業務処理製品
(業務ユニットIF処理)
PF通信製品

業務処理製品
(業務ユニットIF処理)
Y社PF通信製品

業務処理製品
Z社アダプタ
Y社PF通信製品

(0)型 ※

(1)型

(2)型

(3)型

(4)型

※(0)型を選択できるのは、要件1-3 準拠ルール③に対応しない製品のみです。

前提となるPF通信製品(オプション)

前提PF通信製品名:

※1

前提PF通信製品名:

※1

前提のアダプタ製品名:

※2

※1 (2)型から(4)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

※2 (4)型の場合、準拠確認対象製品のサービスインタフェースを実現するアダプタ製品の製品名を記載する。

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無:

提供無し

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク(オプション)

LGWAN:

専用線(閉域網):

インターネット:

1/2

APPLIC

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)					
◎:対応、○:制約のあるもの(制限事項をシートの最後の備考欄に記載する↓)					
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	製品 確認	APPLIC 確認欄
1	避難行動要支援者名簿管理				○
1-1	避難行動要支援者名簿管理ユニットが提供する機能を持つ	避難行動要支援者名簿管理ユニットは、標準仕様の機能一覧の最下位レベルで定義される各機能を持つこと。なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なっても良い。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理【業務1-4】の機能一覧を参照)	必須	◎	
1-2	避難行動要支援者名簿管理ユニットのデータ項目を持つ	避難行動要支援者名簿管理ユニットは、利用側業務ユニットに対し、標準仕様のインタフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理【業務1-7】のインタフェース仕様、【業務1-8】のデータ一覧を参照)	必須	◎	
1-3	避難行動要支援者名簿管理ユニットのインタフェースを持つ	①避難行動要支援者名簿管理ユニットは、標準仕様のインタフェース一覧で規定されている、避難行動要支援者名簿管理ユニットの防災連携CSVファイルをインポートできること。 (インタフェース番号AB11-01～AB11-06(防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須	◎	
		②避難行動要支援者名簿管理ユニットは、標準仕様のインタフェース一覧で規定されている、避難行動要支援者名簿管理ユニットの防災連携CSVファイルをエクスポートできること。 (インタフェース番号AB11-21(防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	必須	◎	
		③避難行動要支援者名簿管理ユニットは、自治体基幹系システム(業務ユニット)に対して、標準仕様のインタフェース一覧で規定されているSOAPのサービス呼び出しのインタフェースを持つこと。 (インタフェース番号AB11-11～AB11-15(防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理【業務1-9】のインタフェース一覧を参照)	選択		
1-4	コード辞書に対応	防災連携CSVファイルによるデータ連携時に、標準仕様のコード辞書に定義された値に変換できること。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理・被災者台帳管理【業務1-13】のコード辞書を参照)	必須	◎	
		SOAPによるデータ連携時に、標準仕様のコード辞書に定義された値に変換できること。 (防災業務アプリケーションユニット標準仕様 避難行動要支援者名簿管理・被災者台帳管理【業務1-13】のコード辞書を参照)	条件付き必須(※1)		
1-5	PF通信機能を持つ	①避難行動要支援者名簿管理ユニットは、PF通信標準仕様のPF通信機能(SOAP)を持つこと。	条件付き必須(※1)		
		②避難行動要支援者名簿管理ユニットは、PF通信標準仕様のXML定義仕様を満たすXMLの処理、及び、プラットフォーム通信標準仕様として公開されるXMLスキーマにて定義される共通ヘッダの処理ができること。	条件付き必須(※1)		
		③避難行動要支援者名簿管理ユニットは、PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。	条件付き必須(※1)		
注(※1):要件1-3 準拠ルール③に対応する場合、必須である。					
備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)					